

平成 21 年度・第 4 回最終処分場検討委員会  
(要点議事録)

日時：平成 21 年 9 月 28 日(月) 19 時 00 分～21 時 30 分

場所：穂高広域施設組合 会議室

出席者

委員：福島委員長、降旗副委員長、吉田委員、加藤委員、尾日向委員、伊藤委員、井關委員、丸山委員、高山委員、新井委員、清水委員、平田委員、岩垂委員

事務局：組合事務局長、事務局次長、環境第一係長、環境第二係長、安曇野市、八千代エンジニアリング(株)

.....

## 1 開会

## 2 あいさつ(委員長)

## 3 議題

### (1) 候補地追加の要望について

- ・ 新庁舎との併設を求める「候補地追加の要望」については、最終処分場の選定とは、利便性という観点では相反する評価軸となっているため、新庁舎との併設は適切でないと判断された。

### (2) 最終処分場選定に際しての候補地評価について

- ・ 比較評価表の各項目について、協議を行い、最終評価ランクを設定した。

以下、主な協議内容を示す。

- ・ 比較評価表については単位や用語の統一を図ること。
- ・ 堀金候補地に記載されている活断層の確実度に表現に留意すること。
- ・ 「災害危険」の「土地保全機能」について、地盤を考えた場合、全部同じレベルの評価とは考えられない。
- ・ 「景観保全機能」において、これまで畑地に新しい建物ができ、そこに廃棄物の処分場ができたということになると、景観機能はかなり変化するという感じがする。
- ・ 「民間の産業廃棄物処理施設の数」における、積替保管施設については、特別管理産業廃棄物の積み替え保管施設で、いわゆる管理が非常に困難な物の積み替え保管をしているという

観点から、積み替え保管施設を入れて評価することとする。

- ・ 貴重動植物における、絶滅危惧Ⅰ類のコバネアオイトトンボは、昔の文献には記載されているが、長野県のレッドデータブックにはもう既に載っていません。また、今年の7月に、日本トンボ学会で、松本、塩尻、安曇野、大町、上田で、トンボの生息調査をした中でも、この地域でそのコバネアオイトトンボは確認をされていないことが、聞き取り調査より分かっています。
- ・ 「造成規模」については、改変面積が最も大きく、かなり傾斜がある堀金候補地は、平地であるところと比べると差があると見たほうがいい。また、施行性から考えたとき、明科候補地は、深く掘らなければいけないことからマイナスである。
- ・ 場内取付道路について、明科候補地は、多少補強する必要があることを考慮する。
- ・ 堀金候補地の雨水の排水路の状況について現況を確認すること。
- ・ 評価ランクについて、基準に説明が若干必要である箇所は記載するようする。
- ・ 評価ランクの最終確認を行う。

### (3) 最終処分場検討委員会報告について

- ・ 報告書の骨子については、協議を行い、了承される。
- ・ 今後、報告書を作成し、内容について各委員確認して、最終報告書とする。

### (4) その他

- ・ 次回委員会は、10月26日（月）に実施する。
- ・ 今日欠席された委員については、協議内容についての結果を報告し、了承を得ることとする。

## 4 前回議事録の確認

- ・ 前回議事録は、修正箇所は別途申し出いただき、修正後ホームページに掲載する。

## 5 閉会

— 了 —